

護ノ目的ヲ要ス即第4號式ノ如ク表ニ製シ
毎年二月中文部省ニ出スヘン

言金請

後來ノ目的ヲ期シ當今着手之順序ヲ立ル如左
一厚クカラク小學校ニ可用事
夫レ入ノ學業始メアルニ非レハ善ク終リア
ル鮮シタトヘハ高ニ登ルカ如シ若シ初階ヲ
不經ニサニイツクヨリユカントスサレハ老
成ノ棟熟ハ少壯ノ研業ニアリ壯盛ノ進達ハ
幼時ノ習學ニ基ク是レ文明ノ各國ニ於テ小
學ノ設盛大隆壯ナルユヘシナリ 皇邦從來
ノ風凡ソ入八九歲若クハ十二三オヲ過ク尚
學問ノ何物タルヲ不辯漸ク長スルニ及シテ

太正官

言金記

其營生ニ汲タタリトイヘ凡素ヨリ天然ノ良智ヲ其以テ可進達ノ時ニ棄テシメタルヲ以テ志行賤劣求ル所モ亦隨テ得ルト不能流離落魄自テ活スルヲ不能者不可勝數タマ々々學ノモノハ之ヲ其可學ノ時ニ不學ヲ以テ其基礎已ニ不立タトヘハ無稽舟ノ如シ至ル所繫留シ其學遂ニ上達スル不能ト多シ然ハ則世ノ文明ヲ期シ人ノ才藝ヲ待ツ之ヲ小學ノ教ノ能ク廣普完整スルニ求ルニアルノミ故ニカヲ小學ニ用ユルト當今着手第一ノ務ト

ス

一速ニ師表學校ヲ興スヘキ事

小學ノ教ヘノ能ク完全ナルヲ得ルユヘシノモノ小學教則ノ能ク齊整スルニアリ小學教則ノ能ク齊整スルユヘンノモノ小學教師ノヨク教則ヲ維持シテ之ヲ教ユルノ正シキヲ得レハナリ夫レ師ノ生徒ニ於ル形ト影トノ如シ形不直シテ影直ナランヲ求ム不可得各國己ニ師表學校ノ設アリ是レ小學教員ヲ植成シ以テ教則ヲ整全ナラシメンカ爲也故ニ速

本文宮

一祀錄果

土

大正元年

言金語

ニ師表校ヲ興シ小學ノ教育ヲ植成シ順次四方ニ派出セシメ益以テ之ヲ増殖シ其教規ヲ正シ以テ務テ小學ノ教育ヲ完齊セシメンラ欲ス是當今着手第一中ノ尤急務トス

一般ノ女子男子ト均シク教育ヲ被テシムヘキ事

人間ノ道男女ノ差アルトナシ男子已ニ有學女子學フコナカル不可旦入子學問ノ端緒ヲ開キ其以テ物理ヲ辯フルユヘンノモノ母親教育ノカ多キニ居レ故ニ博ク一般ヲ論スレ

ハ其子ノ才不才其母ノ賢不賢ニヨリ既已ニ其分ヲ素定スト云ヘシ而シテ今日ノ女子後日ノ人ノ母ナリ女子ノ學ビサル可ラナル義誠ニ大ヒナリトス故ニ小學ノ教ヲ布キ從來女子不學ノ弊ヲ洗ヒ之ノ學ハシムルノ務テ男子ト並行セシメンヲ期ス是小學ヲ興スニ就テ第一義トス

一各大區中漸次中學ヲ設ケヘキ事
各大區中一所ノ大學ヲ興スヘキトイヘ生徒ノ學カ未タ大學ニ入ルニ不レ至故ニ先ツ西

本文書

記録

正官

言金語

洋教師ヲ撰ミ各大區中先ツ一二學校ヲ興シ
生徒ヲ入レ其階級ヲ不亂追日ノ成業ニ至ル
ヲ期スヘシ是レ人才藝術ノ益廣多ランヲ
求ム學校ノ數増加セサルヲ得サレハ也
一生徒階級ヲ踏ム極メテ嚴ナラシムヘキ事
従來ノ弊生徒規則ヲ不踏近下ナルモノヲ以
テ卑シトシ勤モスレハ高尚ニ馳ストイヘモ
其成就スルノ幾稀ナリ不知近下ハ高尚ノ基
タルトク故ニ生徒ヲシテ必ス其成スヲ期セ
ント欲ス毫モ姑息ヲ進級ヲセシムヘカラス

一生徒成業ノ器アルモノハ務テ其大成ヲ期セ
シムヘキ事
學問已ニ開ケ生徒袖ヲ連ヌ而シテ其大成ノ
器甚少シキユヘンノモノ何ソヤ是多クハ目
前ノ小利ニ安ンシ功ヲ晚成ノ日ニ待ツフ思
ハサルニヨル故ニ生徒ノ器アル者ハ務テ其
志ヲ鼓舞シ其大成ヲ期セシムヘシ故ニ如此
ノ類必ス其大成ニ至ルノ間決シテ轉動ノト
アルベカラス後來生徒ノ成業ヲ期スルエヘ
ン也此規則得業生ノ設ツナスユヘンナリ
別冊ニアリ之フ畧ス

大正官

言金記

一商法學校一二所ヲ興ス事

萬貨運動ノ源察セサレハ万貨運動ノ用ヲナ
ス不能今也舟足四通四海比屋万貨ノ活動昔
ヨリ以テ之ヲ知ル不可商法ノ學不可不講旨

方法例

一凡諸學校ヲ設ルニ新築營繕ノ如キハ務テ完
全ナルヲ期ス事

數十年ヲ達觀シ務テ其大成ヲ期ス速カナル
ソ貪リテ姑息ニ陷ル不可是ヲ以順漸齊整シ
其以テ成ス所ハ毫モ退歩セサランヲ旨トス

一反譯ノ事業ヲ急ニスル事

言語ノ人心ニ浸染シ自ラ一國ノ語ヲナス各
國不然ナシ今也入ヲ率ヒテ學ニ就カシム悉
ク洋語ヲ以テ之ヲ教エヘカラス反譯ノ業亦
尤急ナルモノトス